

2008年度 第1回常任理事会議事録

日時: 2008年4月25日(金) 午後6時00分～
午後8時30分

場所: 東京富士大学本館1階第2会議室

出席者: 岡村一成理事長, 荻野七重副理事長, 浮谷
秀一, 垣本由紀子, 田之内厚三, 所正文,
内藤哲雄, 松田浩平, 向井希宏, 藤森立男
(第75回大会委員長) (以上10名)

委任状: 藤田周一, 南隆男, 蓮花一己(以上3名)

事務局: 浮谷秀一(事務局長)

1. 報告事項

(1) 理事長挨拶

①現役員の任期は来年3月までで、10月には選挙が予定されている。残りの1年間よろしくとの挨拶があった。

(2) 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会(藤田委員長)

①第33巻第2号の編集状況は次の通りである。

- ・投稿論文は原著と資料あわせて8本(そのうち英文1本)あり, そのうち掲載決定は原著1本, 資料3本(そのうち英文1本), 審査中4本である。
- ・総説1本, 審査中の短報5本(そのうち英文1本)が審査中である。
- ・2007年度応心公開シンポジウム記録, 2007年度応心+日心企画自主ワークショップ記録, 事務局だよりを掲載する。

②第33巻第2号の発行日を, 論文受理日を考慮すると2008年3月31日とできない件について審議した結果, 2008年4月30日を発行日にして, 会計処理は2007年度分とすることが承認された。

③投稿・執筆規程のなかに, 「正会員に限る」という文があるため, 名誉会員や終身会員が投稿できない。委員会でも適切な文に修正することが了承された。

④次回編集委員会を5月11日(金)に開催する予定。

2) 企画委員会(内藤委員長)

①公開シンポジウムを地方で開催することについて検討した。地域の人を対象にしたテーマを設定し, 松本で開催する方向で進めるとの報告があり, 了承された。

3) 広報委員会(所委員長)

①ニュースレターNo. 19は全7ページで5月10日頃会員に届く予定であるとの報告があった。

②ホームページのトップページおよび一部が完成した。今後も継続的に作業を進める。ホームページの管理は, 委員会メンバーを充実して進めることが承認された。

4) 「応用心理士」認定審査委員会(浮谷委員長)

①2007年度後期の申し込み者2名を認定し, 認定証送付など作業をすべて終えたことが報告された。

②2008年度前期の受付は, ニュースレターの発行が5月中旬になることを考慮し, 締め切りを1ヵ月延ばして6月末にすること, その案内をニュースレターに掲載することが了承された。

5) 国際交流委員会(代理: 内藤委員)

①4月19日に委員会を開催して, オーストラリアの国際応用心理学会(2010年7月11日～16日)でのシンポジウムについて検討し, テーマを1つにすることと外国人を加えることが決まった。前回同様すべてを含めて100万円の予算を予定している。

6) 若手研究者支援委員会(田之内委員長)

①第75回大会中の対応について継続的に検討している。大会プログラムに, 大学院生が当日窓口に来ること, 当日参加に補助があることを掲載することを決定した。

7) 学会賞選考委員会(荻野委員長)

①メールを使って委員間でいろいろな点を検討し, 次の点を決定した。

- ・学会賞選考規程に基づいて推薦してもらうとともに, 必ず返信してほしい旨を依頼する。
- ・理事長, 学会賞選考委員会の委員長および委員にも推薦を依頼する。

- ・返信の宛先は、学会賞選考委員会委員長とする。
- ・論文部門の対象は、機関誌 Vol. 31 No 2, Vol. 32 No 1, Vol. 32 No 2, Vol. 33 No 1 に掲載されているものとし、シンポジウム、追悼文を除くことにした。
- ・実践活動部門は期間を限定しないで依頼する。
- ・対象機関誌 4 冊を同封する。

(3) 2008 年度第 75 回大会について
(藤森大会委員長)

- ①大会案内状を送付した。
- ②広告を募集中であるが少ないので、どこかあれば紹介してほしい。
- ③学会のホームページに大会のホームページをリンクした。

2. 審議事項

- (1) 名誉会員に関する件 (岡村理事長)
 - ①前回配布した名誉会員の資格条件を満たした会員のなかから、大橋信夫氏を推戴することが承認された。
- (2) 2008 年度予算案に関する件 (浮谷事務局長)
 - ①事務局から予算案が提示され、一部修正のうえ承認された。大会で承認されるまで、この予算案を執行していくことが確認された。
- (3) 2007 年度決算に関する件 (浮谷事務局長)
 - ①すべての委員会から会計報告がなされていないので次回審議をすることにした。
- (4) 新入会員審査および会員の異動
(浮谷事務局長)
 - ①新入会員申し込みのあった 31 名について審査し、31 名全員が承認された。
西原瑞世 城丸瑞恵 芳澤宏樹 法理樹里 中澤さやか 米村敬子 長内優樹 槻館尚武 神谷恵利子 後藤学 小野洋平 油尾聡子 羽生寛奈 森本智絵 福本敏宏 林美希子 野口恭祐 成内有奈 堂代裕子 高田誠己 作久本千尋 小林紗耶香 吉川大策 黒澤泰 鹿野麗子 石岡綾香 村田晋也 三上邦彦 中村愛 飯嶋慧 大森哲至
 - ②4/23 現在、会員数 1,125 名 (内訳: 正会員数 1,041 名, 学生会員 3 名, 名誉会員 39 名, 終身会員 38 名, 賛助会員 4 名), 入会

者 1 名, 退会者 26 名。

※次回の常任理事会については、6 月 26 日 (金) 18 時～東京富士大会議室において開催予定。

2008 年度 第 2 回常任理事会議事録

日 時: 2008 年 6 月 26 日 (金) 午後 6 時 00 分～
午後 8 時 30 分

場 所: 東京富士大学本館 1 階第 2 会議室

出席者: 岡村一成理事長, 荻野七重副理事長, 浮谷秀一, 垣本由紀子, 田之内厚三, 所正文, 藤田主一, 松田浩平, 南隆男, 藤森立男 (第 75 回大会委員長) (以上 10 名)

委任状: 内藤哲雄, 松浦常夫, 向井希宏, 蓮花一己 (以上 4 名)

事務局: 浮谷秀一 (事務局長)

1. 報告事項

- (1) 理事長挨拶
 - ①大橋信夫氏から名誉会員内諾のご返事をいただいたことが報告された。
- (2) 各委員会報告
 - 1) 機関誌編集委員会 (藤田委員長)
 - ①第 33 巻第 2 号が発刊された。内容は、原著 4, 資料 3 (そのうち英文 1), 総説 1, 短報 5 (そのうち英文 1), 2007 年度応心公開シンポジウム記録, 2007 年度応心+日心企画自主ワークショップ記録, 事務局だより, 「応用心理士」事務局だより, 『応用心理学研究』投稿・執筆規程, 機関誌編集規程である。
 - ②第 34 巻第 1 号の 6 月 25 日現在の投稿数は、現在、原著 6, 短報 3 である。
 - 2) 広報委員会 (所委員長)
 - ①ニューズレター No. 19 を発行した。次号の発行は、大会終了後を予定している。
 - ②ホームページは、松田委員を中心に作業を進行中である。
 - 3) 「応用心理士」認定審査委員会 (浮谷委員長)
 - ①2008 年度前期の申請は 2 件であった。今後委員会を開催して認定作業を進める。
 - 4) 若手研究者支援委員会 (田之内委員長)
 - ①第 75 回大会中の対応について、継続的に

検討している。

2. 審議事項

(1) 学会賞に関する件 (荻野委員長)

①推薦書にもとづき、第一次選考を実施し論文部門は1件、実践活動部門は2件、を決めた。

②第一次選考の結果にもとづき、常任理事会で第二次選考を実施した。論文部門については第一次選考の結果承認した。

運転行動におけるリスクテイキング行動の一貫性検証 中井 宏・臼井伸之介

『応用心理学研究』Vol. 32 No. 1

実践活動部門については、議論の結果、『長崎純子・寺崎美穂・張貞京・川地亜弥子・田中真介』のみを承認した。

(2) 機関誌編集に関する件 (藤田委員長)

①機関誌編集委員会から「機関誌編集委員会の現状と課題」という文章が提示され、内容の説明といくつかの改善提案がなされた。この件については、常任理事各自が検討して次回持ち寄り審議することになった。今回欠席した常任理事にはその文章を郵送することにした。

(3) 2007年度決算に関する件 (浮谷事務局長)

①提出が遅れていた委員会からの決算報告を記入したものを承認した。監事の会計監査を受けて次回報告することになった。

(4) 新入会審査および会員の異動 (浮谷事務局長)

①新入会員申し込みのあった20名について審査、20名全員を承認した。

田中健太、安藤昌也、笹田真希、嶋田美奈、高崎宏史、池田和嘉子、鄭有希、牟田春美、美濃哲郎、奥井良子、山崎こずえ、高橋功、岡田一秀、大貫恵莉、佐柳信男、寺崎美穂、久我隆一、潮村公弘、西條修光、藤岡温美

②6/24現在、会員数1,157名(内訳:正会員数1,073名、学生会員3名、名誉会員39名、終身会員38名、賛助会員4名)、入会者35名、退会者3名。

* 次回の常任理事会については、8月1日(金)12時から東京富士大学会議室において開催予定。

2008年度 第3回常任理事会議事録

日 時: 2008年8月1日(金)午後12時~午後3時40分

場 所: 東京富士大学 本館1階 第2会議室

出席者: 岡村一成理事長, 荻野七重副理事長, 浮谷秀一, 大橋信夫, 垣本由紀子, 所正文, 内藤哲雄, 藤田圭一, 松浦常夫, 向井希宏, 南隆男, 蓮花一己, 藤森立男(第75回大会委員長) (以上13名)

事務局: 浮谷秀一(事務局長), 伊波和恵(事務局幹事)

1. 報告事項

(1) 理事長挨拶

(2) 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会 (藤田委員長)

①『応用心理学研究』第33巻第2号は現在印刷中である。

②『国際応心(特集号)』は審査結果を順次、著者へ戻し中である。

③『応用心理学研究』第34巻第1号は、審査段階である。2008年7月31日現在の投稿論文数には原著8, 資料0, 総説1, 短報6(すべて邦文)である。

④「短報」の反応が大変よく、問い合わせも投稿件数も増えた。メール投稿の可否について問い合わせがあった。

2) 企画委員会 (内藤委員長)

①大会時研修会については、予定通り進行中である。

②公開シンポジウム開催について、今回は試みに地方で実施するということが承認された。テーマとしては、「限界集落」、高齢者社会・コミュニティ、地域アイデンティティ等に関連するなどを考えている。開催候補地としては、長野県松本市。

③公開シンポジウムについては、現行のかたちで行うことに意義があるかという議論があった(日心等の他学会で応心の企画をする, 等)。集客数が低迷するままであるようならば、シンポジウムのあり方自体を次期体制下において再検討する。

3) 広報委員会(所委員長)

- ①ニューズレターの発行は大会終了後、来春を予定している。
- ②ホームページについては作業が滞っている。

4) 「応用心理士」認定審査委員会(浮谷委員長)

- ①2008年度前期申請者2名の審査中である。1名は合格、もう1名については、善後策を検討中である。

5) 国際交流委員会(蓮花委員長)

- ①次回の国際応用心理学会(27th International Congress of Applied Psychology, URL: www.icap2010.com)は、オーストラリア、メルボルン(メルボルン会議センター)にて2010年7月11日～16日に開催される。詳細情報は学会大会等の機会に周知する予定である。
- ②日本応用心理学会企画のシンポジウムのテーマは“Measures to aging in Japan(日本の高齢社会への対応; 仮題)”として、福祉・交通・社会・医療/看護、の4分野を立てて企画している。現在は具体的な人選を進めているので、演者を推薦してほしい。2009年1～2月頃に大会事務局に申請する予定である。
- ③渡航費用のことなどで、今後さらに具体的に検討をしていく。

(3) 2008年度第75回大会について

(藤森大会委員長)

- ①予約参加者は221人で予約申込みあり。口頭発表34件、ポスター発表79件、自主ワークショップ4件、研修会予約参加は67人。
- ②昼食のお弁当は、2日間とも無料提供することにした。
- ③理事会9/13(土)17時～、常任理事会9/15(月)昼休み、いずれも横浜国立大学にて開催予定。

2. 審議事項

(1) 2007年度決算に関する件(浮谷事務局長)

- ①藤森監事ならびに玉井監事による監査が終了した。
- ②若干のミスプリントを修正・確認して、承

認された。

- ③2007年度決算で生じた繰越金の一部を、特別企画積立金に50万円を繰り入れることにした。

(2) 機関誌編集に関する件(藤田委員長)

- ①前回提出された資料「機関誌編集委員会の現状と課題」に沿って、再度藤田委員長から、編集委員会が抱える現在の問題点と次年度以降の6つの改善案が説明され、審議した。

- ・委員長に一極集中しがちな作業・機能を分散してゆくために6専門領域2名ずつ編集委員を配置し、委員会メンバーを13名体制とすることが承認された。
- ・会員名簿作成時に専門領域に関する自己申請の項目を加えることが承認された。
- ・国際応用心理学会のシンポジウム特集号(英文)の責任編集は、企画担当者が行うことが確認された。
- ・機関誌の年間3号刊行(あるいは別冊化)の可能性、特集号の編集方針等について議論されたが、継続審議となった。
- ・編集事務局の体制(窓口の固定化、業務委託)に関する件は、議論の末、次期は現行の体制を維持することになった。ただし新体制発足時に、次期役員で再検討するように申し送りすることが確認された。

(3) 学会賞選考に関する件(再確認)(岡村理事長)

- ①前回、受賞が内定した実践活動部門の当該候補に関して、推薦者から候補者の変更の申し出があった件について審議した結果、筆頭候補者のみを表彰することにした。

(4) 2010年第77回大会委員長(案)に関する件(岡村理事長)

- ①田中真介先生(京都大学)に交渉中、現在、回答待ちである。

(5) 新入会員審査および会員の異動に関する件

(浮谷事務局長)

- ①新入会員申し込みのあった4名について審査し4名全員を承認した。
小野修一、松野凱典、三井達郎、Prima Oky Dicky A
- ②7/31現在、会員数1,161名(内訳:正会員

数 1,076 名, 学生会員 3 名, 名誉会員 39 名, 終身会員 38 名, 賛助会員 5 名), 入会者 5 名, 退会者 1 名。

(6) その他

①理事会, 総会関連の資料提出締切は 9 月 8 日 (月)。浮谷事務局長まで送付のこと。

* 次回の常任理事会は, 9 月 15 日 (月) 昼休み 横浜国立大学において開催予定。

会員異動

2007 年度新入会員 (74 名)

飯野 歩

足利介護福祉専門学校

池田 満

国際基督教大学大学院教育学研究科心理学専修

石井 裕美

埼玉医科大学短期大学

石館 美弥子

横浜医師会看護専門学校

市川 千文

お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科

岩井 眞弓

熊本保健科学大学看護学科

上田 真由子

西日本旅客鉄道株式会社 安全研究所

植田 有香

帝塚山大学大学院人文科学研究科

上野 恵加

帝塚山大学大学院人文科学研究科

内田 誠也

(財)エム・オー・エー健康科学センター

大西 彩子

名古屋大学大学院教育発達科学研究科

岡崎 琴恵

お茶の水女子大学大学院

緒方 康介

大阪府富田林子ども家庭センター

奥野 朝子

帝塚山大学

小畑 周介

帝塚山大学人文

小山 秀紀

財団法人 労働科学研究所

上出 寛子

大阪大学大学院

川口 智子

帝塚山大学大学院人文科学研究科

菊池 武尅

東北大学大学院教育学研究科

基島 里奈

帝塚山大学大学院人文科学研究科

北風 菜穂子

明治学院大学大学院心理学研究科

窪田 知子

大阪千代田短期大学幼児教育科

栗原 通世

東北大学大学院文学研究科

小平 朋江

聖隷クリストファー大学 看護学部

小西 浩嗣

帝塚山大学大学院人文科学研究科

小林 敦子

日本大学大学院総合社会情報科

財津 亘

富山県警察本部刑事部科学捜査研究所

酒井 敦子

神戸親和女子大学発達教育学部

佐々木 真里

明治学院大学大学院心理学研究科 心理学専攻心理臨床コース

佐相 泰介

帝塚山大学大学院

佐脇 亜依

帝塚山大学大学院人文科学研究科

澤田 幸嗣

帝塚山大学人文科学研究科臨床社会心理学専攻

塩野 由乃

帝塚山大学

鳴原 依子

桜美林大学大学院国際学研究科臨床心理学専攻

治部 哲也

関西福祉科学大学健康福祉学部

島崎 敢

早稲田大学大学院人間科学研究科

清水 明美

レターカウンセリング鳥取

- 清水 美帆
桜美林大学大学院
- 白鳥 司
帝塚山大学大学院人文科学研究科
- 高井 秀明
日本体育大学大学院
- 高橋 美奈
関西国際大学大学院
- 高橋 有里
岩手県立大学 看護学部
- 武田 善樹
文京学院大学学習支援センター長
- 田中 和美
帝塚山大学
- 玉井 航太
国際基督教大学大学院教育学研究科
- 津田 康民
(財)エム・オー・エー健康科学センター
- 長坂 晟
和光大学大学院 社会文化総合研究科
- 長崎 真梨恵
お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科
- 永島 弥生
亀有メンタルクリニック
- 永光 優
文京学院大学大学院人間学研究科心理学専攻
- 中山 智恵
文京学院大学大学院人間学研究科心理学専攻
- 西沢 綾
帝塚山大学人文科学研究科
- 西土 泉
埼玉医科大学短期大学
- 沼山 博
仙台白百合女子大学
- 橋田 藍子
航空自衛隊航空安全管理隊
- 肥後 梨恵子
国土舘大学
- 平木 貴子
(独)日本スポーツ振興センター
- 藤吉 信子
脳血管医療センター 介護保険施設
- 堀井 健
関西大学システム理工学部
- 牧野 祥子
帝塚山大学
- 松井 裕子
(株)原子力安全システム研究所
- 松上 伸丈
和光大学大学院社会文化総合研究科
- 松田 睦代
関西国際大学人間学部人間行動学科
- 松原 詩緒
立正大学大学院心理学専攻
- 松本 麻衣子
帝塚山大学大学院人文科学研究科
- 三島 重顕
九州国際大学経済学部経済学科
- 三井 清美
文京学院大学大学院人間学研究科
- 矢野 優人
関西福祉科学大学大学院社会福祉学研究科
- 山内 まち子
お茶の水女子大学大学院
- 山口県警察本部
山口県警科学捜査研究所
- 山田 竜平
立正大学大学院心理学研究科
- 山本 崇
立正大学大学院心理学研究科応用心理学専攻
- 山本 美知子
桜美林大学大学院国際学研究科臨床心理専攻
- 渡邊 亜紀子
お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科

2007年度退会者名簿一覧(28名)

秋元 幸見, 安部眞喜子, 石塚 明子, 林 有学,
岩本寿美枝, 臼井 恵美, 梅林 奎子, 大井 睦美,
大澤 光, 大前 泰彦, 神谷有里子, 河原 宣子,
川除 節子, 北島 靖子, 小森田哲哉, 佐々木 薫,
島田 美鈴, 清水 光明, 高田 武代, 瀧本 孝雄,
寺田 敦子, 徳光 紗妃, 楡木 満生, 沼原 悠子,
間島 英俊, 増田 公男, 松井 賢二, 三浦 麻子,
三木 善彦, 三島 二郎, 三宅 洋一, 村田 悦子

逝去 (3名)

小倉 昭平, 小宮 敏克, 洞内 祥次

住所不明 (55名)

社会環境研究所

青木 玲子, 雨宮 一洋, 伊藤 朋子, 伊吹山太郎,
岩本 彩子, 閻 喜, 岡村 千鶴, 鑑 さやか,
片岡 健二, 熊谷 陽子, 熊倉 朋子, 黒田 正典,
河野 雄二, 小林 桂子, 近藤 千尋, 斉藤早香枝,
佐伯 勝幸, 佐久間 直也, 下方 友子, 薛 常慧,

新藤 美香, 杉浦 愛子, 鈴木 祐子, 高田 智子,
高橋 晃, 高見 理恵子, 武田 繁好, 武田 真弓,
竹中 桂子, 田辺 勝, 月野木 竜也, 土谷 望,
椿堂 由紀, 出水真寿美, 富重 健一, 鳥山 絵美,
中里 茂, 南篠 充寿, 楡木 佳子, 野村 昌史,
蓮見知恵子, 服部 隆志, 藤生 英行, 布施 晶子,
古川ひとみ, 松井 真樹, 松坂まり子,
マルコン オットー, 安川 雅史, 山崎 麻里,
吉田 恒彦, 劉 莉, 若山 英央, 渡部 桂子